

日興UBS 中国A株ファンド 愛称:桃源郷

追加型/海外/株式



ファンドの特色

- 中国国外投資家にとって希少性の高い中国A株(中国企業の人民元建て株式)*を実質的な投資対象とします。
- 中国A株の中でも、各セクターを代表するリーディング企業やリーディング企業に成長する可能性の高い企業の株式を中心に投資を行います。
- UBSグローバル・アセット・マネジメント・グループが運用を行います。

*中国A株に関しては、中国国外投資家はQFII制度を通じた投資に限られております。資金動向、信託財産の規模、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

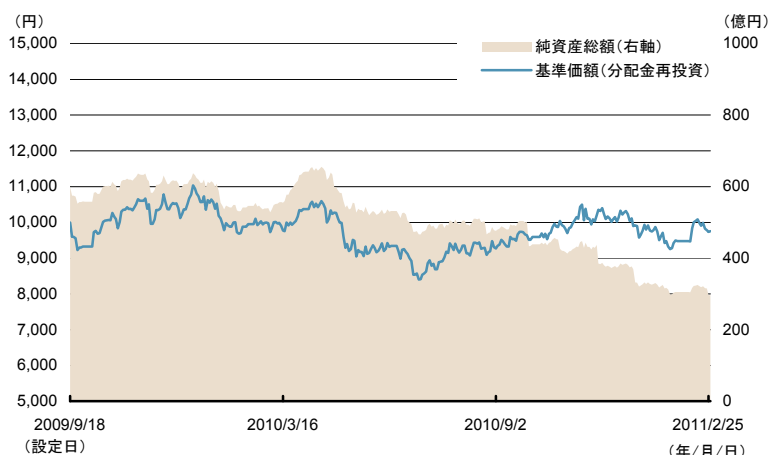
※当レポートにおける分配金については全て課税前としております。また、基準価額の記載については全て信託報酬控除後としております。

運用実績

ファンドデータ

基準価額	9,757円
純資産総額	296.6億円
設定日	2009年9月18日
信託期間	2009年9月18日から 2019年9月25日まで
決算日	原則として毎年9月25日 (休業日の場合は翌営業日)

基準価額(分配金再投資)と純資産総額の推移(設定~2011年2月28日)



分配金実績 (1万口当たり、課税前)

決算日	分配金額
2010年9月27日	0円
—	—
—	—
—	—
—	—
設定来累計	0円

基準価額(分配金再投資)の騰落率

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	2.79%	-6.19%	2.97%	-2.69%	—	-2.43%

※分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。ただし、委託会社の判断で分配を行わないことがあります。

※基準価額(分配金再投資)は、ファンドの分配金(1万口当たり、課税前)でファンドを購入(再投資)したと仮定した場合の価額です。
※騰落率は各応答日で計算しています。
※応答日が休業日の場合は前営業日の数値で計算しています。
※基準価額の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

ポートフォリオの状況

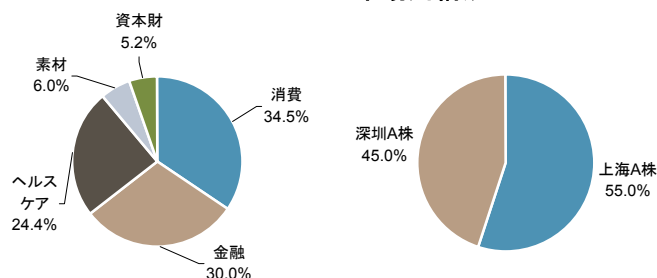
資産構成比

UBS (CAY) ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド (J Class)	99.8%
UBS短期円金利プラス・ファンド (適格機関投資家向け)	0.0%
その他現金等	0.2%
合計	100%

業種別構成比

消費	生活必需品	21.7%
	一般消費財・サービス	12.7%
	銀行	20.2%
金融	保険	6.3%
	不動産	2.0%
	証券	1.5%
ヘルスケア	24.4%	
素材	6.0%	
資本財	5.2%	
合計	100.0%	

市場別構成比



※業種/市場別構成比は、「UBS (CAY) ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド (J Class)」における株式の評価総額合計に占める割合です。
※表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

組入れ上位10銘柄(銘柄数合計: 29銘柄)

銘柄名	市場	業種	銘柄概要	構成比
1 山東東阿阿膠	深圳	ヘルスケア	漢方薬、健康食品、医療付属品メーカー。子会社を通じて、医療機器、バイオ薬品、ビールを製造。印刷事業、薬品販売事業も手掛ける。	8.8%
2 貴州茅臺酒	上海	消費	酒造会社。モロコシと麦の蒸留酒を製造し、世界各地で販売。	7.8%
3 雲南白薬集団	深圳	ヘルスケア	漢方薬メーカー。医薬品の卸・小売、カプセル容器製造のほか、ホテル経営も手掛ける。	6.3%
4 蘇寧電器	深圳	消費	家電製品の小売チェーン店経営を展開。家電製品、エレクトロニクス製品、オフィス機器、通信関連製品を扱う。	6.2%
5 江蘇恒瑞医薬	上海	ヘルスケア	医薬品メーカー。各種医薬品およびその容器を開発、製造、販売。主な製品は、抗腫瘍剤、鎮痛剤、抗感染薬、アルミ箔など。	5.7%
6 瀘州老窖	深圳	消費	蒸留酒メーカー。蒸留酒を世界各地で販売するほか、ガラス製品の製造、ホテル経営、不動産投資も手掛ける。	5.6%
7 中国工商銀行	上海	金融	商業銀行。中国全土に支店を持ち、個人および法人向けの各種銀行サービスを提供。	4.5%
8 安徽海螺水泥	上海	素材	セメントメーカー。主な製品は、普通ポルトランドセメント、高炉セメント、複合セメント、商用クリンカーなど。	4.5%
9 中国平安保険(集団)	上海	金融	保険会社。損害、災害、生命保険などの保険サービスを提供する。金融サービスも手掛ける。	4.2%
10 中国建設銀行	上海	金融	商業銀行。一般銀行業務ならびにその他の金融サービスを個人、法人向けに提供。	3.9%

※構成比は、「UBS(CAY)ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド(J Class)」における株式の評価総額合計に占める割合です。業種・MSCI分類に準拠しています。

市場概況と今後の見通し

市場概況:

当該期間の中国A株市場は上昇しました。旧正月による休場明けの9日、前日に発表された中国での利上げを受けて中国A株市場は下落してスタートしましたが、その後すぐ反発しました。月のなかばには中国でのインフレ圧力が弱まるとの見通しから利上げ観測が後退したこと、1月の中国貿易統計が輸出入ともに堅調な内容を示したことなどから、中国A株市場は上昇しました。下旬には中東情勢が緊迫化したことから、原油価格高騰や国内でのインフレ加速が懸念され、中国A株市場は下落したものの、月の終盤にかけて原油供給懸念が後退するに当たって中国A株市場は再び緩やかに上昇を続け、前月末の水準を上回って月を終えました。当該期間において、国内総生産(GDP)成長率の中期目標(第12次五ヶ年計画期間中の目標)について、従前の7.5%から7.0%への目標値の引き下げが発表されました。また、1月の消費者物価指数の上昇率は市場予想を下回りましたが、物価上昇に対する警戒感は依然続いています。

運用経過:

当月のファンドの騰落率(円ベース)は2.79%でした。セクター別には、IT関連セクターや素材セクター、一般消費財・サービスセクターが堅調に推移しました。

今後の見通し:

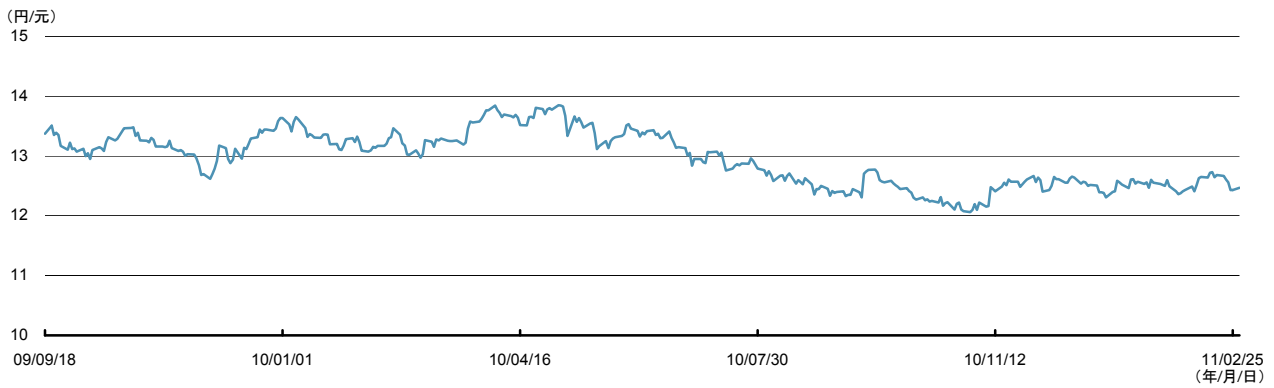
米国や欧州において景気回復の兆しが見える一方で、中東情勢ならびに原油価格の動向についての不透明性が高まっています。中国においては、インフレ率が高水準で推移しており、それに伴い実質金利もマイナスに転じています。このため、2011年前半にかけて引き続き利上げが行われることが予想されており、中国A株市場も当面はレンジ内での推移が続くと思われます。一方で、企業の経済活動は堅調であり、特に消費関連セクターの企業については、第12次五ヶ年計画において消費の促進が重点分野として挙げられていることから、消費型経済への転換をめざした政策の恩恵を受けることが予想されています。今後のセクター配分については、中国経済の構造改革の恩恵を受けて中長期的な成長が期待され、また金融引き締めによる影響を受けにくいヘルスケアや消費などのセクターを引き続き重視いたします。素材や資本財など景気循環セクターの銘柄については慎重な見方を維持し、業績の透明性が高い銘柄を投資対象として厳選いたします。当ファンドでは、今後も優良銘柄に割安な水準で投資できる機会をうかがいながら運用を続けてまいります。

ご参考情報

中国A株指数の動き



人民元/円の動き



※上記株価指数(MSCIチャイナAインデックス)は市場の動きを示す代表的な指数として挙げたものであり、当ファンドのベンチマークではありません。

出所:ブルームバーグのデータをもとにUBSグローバル・アセット・マネジメント(株)作成

ファンドの主なリスク

当ファンドの基準価額は、組入れられる有価証券等の値動きによる影響(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を受けますが、これら運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

当ファンドにかかる主なリスクは次の通りです。ただし、全てのリスクについて記載されているわけではありません。

1. 中国A株投資を行う外国投資信託証券を組入れる場合のリスク

中国A株に投資する外国投資信託証券においては、少数の銘柄に集中投資する場合があります、そのため株式市場全体の動きと異なり、基準価額が大きく変動する可能性があります。また、当該外国投資信託証券の特性やQFII制度[※]等中国証券制度上の制限や規制等の影響を受けることがあり、その場合、将来当該外国投資信託証券が実質的課税主体とみなされ所得税等の税金が課される可能性があること、証券決済がDVP取引以外の銘柄においては証券または決済代金の全額を失う可能性があること、一定期間は実質的に当該外国投資信託証券において証券の売却が行えない場合があります、また、一定の金額が当該外国投資信託証券内に留保される可能性があること、中国政府当局の裁量による送金規制等が導入される可能性があることなどから、当ファンドの換金請求代金等の支払いが遅延したり、信託財産の一部の回収が困難となったり、また市場の急激な変動により基準価額が大きく下落する場合があります。

※QFII制度とは、中国証券監督管理委員会(CSRC)が認めた適格国外機関投資家に対して、一定額の枠内において制限付きでA株の売買を可能とする制度です。

2. 株式の価格変動リスク

株価は、政治・経済情勢、株式の需給関係、発行企業の業績等を反映して変動しますので、短期的または長期的に大きく下落することがあり、株価の下落は基準価額が下落する要因となります。

3. カントリー・リスク

投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合には、基準価額が予想外に下落したり、運用方針に沿った運用が困難となったりする場合があります。

4. 為替変動リスク

外貨建資産を円貨ベースにした場合、その資産価値は、為替レートの変動により影響を受けることとなります。為替レートは短期間に大幅に変動することがあります。したがって、為替の変動に伴い、当ファンドの基準価額も変動します。

5. 公社債および短期金融商品に関する価格変動リスク

公社債の価格は、主に金利の変動および発行体の信用力の変化の影響を受けて変動します。公社債の価格が下落した場合には、当ファンドの基準価額が下落する要因となります。公社債の価格の変動幅は、債券の償還までの残存期間、発行体の信用状況などに左右されます。また、ファンド資産をコール・ローン、譲渡性預金証書等の短期金融商品で運用する場合、債務不履行により損失が発生する可能性があります。

6. 解約によるファンドの資金流出に伴うリスクおよび流動性リスク

短期間に相当額の解約申込があった場合や、市場を取巻く環境の急激な変化等により市場が混乱し流動性が低下した場合は、保有有価証券を市場実勢から期待される価格で売却できないことがあります。

詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

お申込メモ

購入単位	新規申込: 10万円以上1円単位 追加申込: 1万円以上1円単位
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
換金単位	1万円以上1円単位または1口以上1口単位
換金価額	特定日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた額
換金代金	換金代金は、特定日から起算して6営業日目から販売会社においてお支払います。
申込締切時間	購入申込: 毎営業日の午後3時までに販売会社が受付けたものを当日の申込分とします。 換金申込: 原則として毎月11日から20日(国内の休業日またはシンガポールもしくは香港の休日に該当する場合はそれぞれ翌営業日)の申込期間における午後5時までの換金申込分を当該申込日に属する月の特定日 [*] に受付けたものとして取り扱います。 [*] 特定日(国内の休業日に該当する場合は翌営業日とします。)とは、申込締切日の翌々営業日 [*] をいいます。以下同じ。 [*] 営業日とは「上海証券取引所もしくは深セン証券取引所の休業日またはシンガポールもしくは香港の休日」に該当しない日をいいます。 換金申込の詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。
換金制限	換金の申込は、原則として毎月の定められた期間に行うものとします。信託財産の資金の管理を円滑に行うため、大口換金請求には制限を設ける場合があります。
購入・換金不可日	上海証券取引所もしくは深セン証券取引所の休業日またはシンガポールもしくは香港の休日と同日の場合は購入のお申込を受付けません。また、原則として毎月の定められた期間以外には換金の申込を受付けません。
購入・換金申込受付の中止および取消し日	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情等があるときは、委託会社は購入・換金申込を中止すること、および既に受付けた購入・換金申込を取消す場合があります。
信託期間	平成21年9月18日から平成31年9月25日
繰上償還	信託の一部解約により純資産総額が30億円を下回ることとなったとき、信託契約を解約(償還)することが受益者のため有利であると認めるとき、もしくはやむを得ない事情が発生したときは、ファンドが繰上償還となることがあります。
決算日	原則として毎年9月25日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年1回の決算時に収益分配方針に基づいて収益分配を行います。(再投資可能)
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。益金不算入制度および配当控除の適用はありません。

ファンドの費用

当ファンドのご購入時や保有期間中には以下の費用がかかります。

■ 投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入手数料率はお申込金額 [*] に応じて右記のように変わります。 [*] 購入価額に購入申込口数を乗じて得た額に、購入手数料および当該手数料に係る消費税等相当金額を加算した額です。 [*] 自動引き落とし投資コースの場合は、収益分配金の再投資により取得する口数については、購入手数料はかかりません。	申込金額	手数料率
		1億円未満	3.675%(税抜3.5%)
		1億円以上5億円未満	2.1%(税抜2.0%)
		5億円以上10億円未満	1.05%(税抜1.0%)
		10億円以上	0.7875%(税抜0.75%)

信託財産留保額 特定日の翌営業日の基準価額に対し0.3%を乗じて得た額

■ 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	日々の純資産総額に対して年率1.1865%(税抜1.13%)を乗じて得た額とします。また、当ファンドが投資対象とする投資信託証券の管理報酬等が当ファンドの純資産総額に対して年率1.2635%程度(委託会社が試算した概算値)がかかります。したがって、当ファンドの信託報酬に加えた基本となる報酬率は、実質的には当ファンドの純資産総額に対して年率2.450%程度(税込)となります。
その他の費用	・監査報酬、受益権管理事務費用、法定手続(書類の作成、印刷、交付)等に関する費用等(日々の純資産総額に対して上限年率0.1%(税込))を間接的にご負担いただく場合があります。 ※原則として、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日、毎計算期末または信託終了のときファンドから支払われます。 ・信託財産に関する租税、組入価証券の売買委託手数料、外国での資産の保管費用などが、原則として費用発生都度、ファンドから支払われます。 ※信託財産の規模、取引量等により変動しますので、事前に金額および計算方法を表示することができません。

投資者の皆様にご負担いただく手数料などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、事前に表示することはできません。

ファンドの関係法人

委託会社	UBSグローバル・アセット・マネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第412号 加入協会: 社団法人 投資信託協会、社団法人 日本証券投資顧問業協会、日本証券業協会
受託会社	住友信託銀行株式会社(再信託受託会社: 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)
販売会社	日興コーディアル証券株式会社 ※4月1日より「SMBC日興証券株式会社」に社名が変更されます。 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2251号 加入協会: 日本証券業協会、社団法人 日本証券投資顧問業協会、社団法人 金融先物取引業協会

本資料はUBSグローバル・アセット・マネジメント株式会社(以下、「弊社」といいます。)が運用状況に関する情報提供を目的として作成した資料です。本資料に記載された運用実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。本資料に記載された市場やポートフォリオの見通し等は本資料の作成時点での弊社の見解であり、将来の市場の動向等を保証するものではありません。また、将来、予告なしに変更される場合もあります。投資信託は値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本は保証されているものではありません。投資信託は預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構または保険契約者保護基金の保護の対象ではありません。また証券会社以外でご購入頂いた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。本ファンドのご購入に際しては、販売会社より投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ず内容をご確認の上、お客様ご自身でご判断下さい。

© UBS 2011. キーシンボル及びUBSの各標章は、UBSの登録又は未登録商標です。UBSは全ての権利を留保します。